

令和 3 年 6 月 1 5 日
福島県南会津地方振興局

「稼ぐ」観光実証ツアーについて

第 1 回 WG での意見

- ◎コンテンツ : 森林、自然
- ◎対象 : 子どもが多かった

- 子ども、子ども連れを対象としたツアー、企画は
南会津地域の教育旅行や、ホテル南郷など、多くで既に取り組まれている。
- 松澤さんの意見：子どもを対象とした企画は実施してきたが、「稼ぐ」のは難しい。
子ども相手は労力が要る。
- 昨年度の振興局事業で、親子を対象とした森林体験モニターツアーを実施済み。
↓
環境学習・自然体験の視点で、ファミリー層を対象としたツアーでは、今回のテーマである「稼ぐ」商品とするのは難しいのではないかと？

第 2 回 WG では
森林資源を活用して、稼ぐ・お金が落ちるツアーとするために
今回の実証ツアーの
・ターゲット
・活用するコンテンツ、「稼ぐ」仕掛け
・実施時期、期間
について、あらためて御意見を伺いたい。

(別紙)

(参考) 昨年度モニターツアーの検証

宿泊した湯ノ花温泉の「民宿」は

- ・古民家で都会の生活とは違う「非日常感」、
- ・地元食材満載の健康的なオーガニックな「食」、
- ・主人との「ふれあい」がある。温泉巡りもできる。

「ナイトサファリ」は

- ・都市部の人が野生動物を見る機会はなく、期待度が高かったが、実際に動物を観ることができなかった。観られない場合を想定した対応が必要。案内人の知識・技量も必要。
- ・移動時間を活用して、事前撮影の映像を活用した予習があっても良い。

「観音沼森林公園」「月田農園」

- ・ガイドとともに、じっくり自然観察する機会は、都市部の人には貴重。

「木こりの店」

- ・製材の見学や鉋がけ体験は概ね好評。
- ・持ち帰れる思い出の品が欲しかったという意見もあり、何かを作るワークショップも良い。

「橋場のぼんば」や「三石神社」参拝は

- ・針金をぐるぐる巻きにしたハサミの奉納や、巨石に孔を見つけて五円玉を結びつける体験は、ここならではのユニークさ。パワースポットの存在感もある。



2020 年の国内旅行実施率が高く、今後の旅行意向も高い都市部の 20 代～30 代をターゲットとしたツアーを実施できないか

例えば、10 月以降に

森林の中でのリフレッシュ体験、森林ヨガ、アロマ体験、パワースポット巡り、温泉セラピー、地域ならではの食材・料理、ガイド、民宿等、地元の人とのふれあいといったコンテンツを活用し、エネルギーチャージをテーマとするツアー。

JTB 総合研究所「新型コロナウイルスに関連したアンケート調査結果-2021 年 1 月調査-」

- ・2020 年 4～12 月の国内旅行実施者は 36.0%で、若者（ミレニアル・Z 世代）の実施率が高く、女性 20 代は 49.3%、男性 20 代は 41.8%となった。
- ・今後の国内旅行の予定について、2021 年内の意向は男性 20 代が 38.6%と最も高く、女性 20 代が 34.9%

※20 代を中心とする Z 世代は、今後の行動や消費に影響を与える世代として世界的に注目されている。